

目次

緑のカーテンってなに？	2
なぜ涼しいの？緑のカーテン	2
さあ育ててみよう、緑のカーテン	3
必要なものを準備しよう	3
年間栽培スケジュール	4
種まき・苗の植え付け	4
水やりは段階的に	5
ネット張り・つるの誘引(ゆういん)	6
摘心(てきしん)・追肥(ついひ)・収穫	7
次年度に向けての準備	8
病害虫について	8
緑のカーテンの効果測定	9
緑のカーテンコンテスト	10
取り組み事例紹介	13

はじめに

「緑のカーテン」って知っていますか？“ゴーヤ(ニガウリ)”、“アサガオ”などのツル性の植物を窓の外に這わせてつくる、植物のカーテンのことです。

「緑のカーテン」は、日差しを遮り室温の上昇を抑えて自然の涼しさで夏を快適に過ごせます。

植える植物によって花や実を利用した様々な楽しみ方もできます。

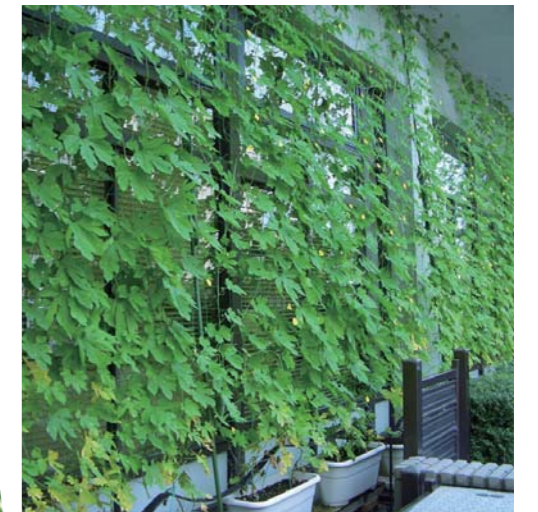
また、「緑のカーテン」は、省エネや温暖化防止にもつながります。

「緑のカーテン」で人も地球も涼しく!

人にも地球にも優しいこの緑のカーテンをご家庭で、町内で、学校で、職場で育てましょう。

緑のカーテンってなに？

- 夏の暑い日、木陰に入ると、ひんやりと涼しく感じたことはありませんか？植物の葉っぱが日差しをやわらげ、涼しさをつくり出してくれているのです。「緑のカーテン」は、ゴーヤやアサガオなどのつる性の植物で窓や建物をおおい、涼しさをつくり出す自然のカーテンのことです。暑い日でも、葉の間をすり抜けてくる涼しい風は、まるで天然のエアコンのよう。さわやかな緑には癒し効果もあり、植える植物によって花や実を楽しむこともできます。
- エアコンに頼りすぎることなく、自然の涼しさで夏を快適に過ごせる「緑のカーテン」。省エネや、地球温暖化の原因とされるCO₂削減にもつながります。ご家庭で、町内で、学校で、職場で、緑のカーテンを育て、節電しながら涼しい夏を過ごしましょう。



なぜ涼しいの？緑のカーテン

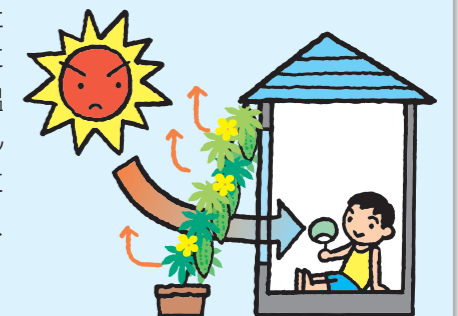
日差しをさえぎる

窓から部屋に入り込む日差しによる、室内の温度の上昇を防ぎます。葉の茂った緑のカーテンは、日差しが持つ熱エネルギーの約80%をカットする効果があります。すだれでは約50~60%、高性能の遮蔽ガラスでも55%程度。いかに緑のカーテンが優れているかわかります。



蒸散作用を利用する

暑いとき、私たちは汗をかいて、その汗を蒸発させることで体温を下げています。植物も同じで、暑いときは地中の水分をしっかり吸い上げ、葉っぱからたくさんの水分を出して蒸発させています(蒸散作用)。このときに空気から熱をうばうため(気化熱)、打ち水をしたときのようにまわりの気温を下げ、涼しい風が室内に流れ込んでくるのです。



放射熱を防ぐ

直射日光だけでなく、強い日差しを受けて窓付近の地面や壁の温度も高くなり、部屋の中をもっと暑くしてしまいます。エアコンの室外機などからの熱が放出されるのも暑さの原因です。これらの放射熱により、室温以上に暑さを感じるようになります。緑のカーテンの張り方を工夫して壁や地面も日差しからさえぎることで、放射熱を効果的に抑えることができます。

